

みみかわ河原番

(発行) 耳川水系総合土砂管理に関する評価・改善委員会事務局
宮崎県土整備部河川課 宮崎市橋通東2丁目10番1号
TEL 0985-26-7186 FAX 0985-26-7317

Vol.8

みみかわ河原番とは

「耳川をいい川にする」ことを目標に、森林（もり）から海まで流域一体となって実施している各種取組を紹介するとともに、その取組の評価結果や改善状況を流域住民の皆様にお知らせし、**関係者が一体となって、これからの耳川を見守っていくための広報紙**です。（年1回発行）

【令和2年の取組内容】

- 令和2年 2月 17日 河口・海岸領域ワーキンググループ、
ダム・河道・山地領域ワーキンググループ 合同開催
- 令和2年 6月 ~ 9月 昨年のダム通砂運用結果及び今年の運用変更について市町村説明会、地元説明会を開催
- 令和2年 8月 5日 第9回 耳川水系総合土砂管理に関する評価・改善委員会 開催
- 令和2年 9月 5~9日 台風10号 ダム通砂運用実施

※令和2年の耳川フェスティバルは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりました。

河口・海岸領域、ダム・河道・山地領域 合同ワーキンググループ(令和2年2月17日)



合同会議状況



領域別での議論



領域別意見発表

第9回耳川水系総合土砂管理に関する評価・改善委員会 (令和2年8月5日)

※コロナ対策により、会場を分散してWeb開催



宮崎県庁



日向市役所



東郷総合支所



美郷町役場



諸塚村役場



椎葉村役場



第9回 耳川水系総合土砂管理に関する評価・改善委員会の検討結果(令和2年8月5日)



第9回 評価・改善委員会において、耳川水系の山地から河口海岸までの各領域における、昨年度(令和元年度)の各種取組について、「耳川通信簿」により評価しました。

その結果、本年度は**すべての領域で普通レベル**であり、**耳川水系全体としても総合的に 普通レベル「△」**の評価を受けました。

しかしながら、一部の問題・課題において悪い評価も見られるため、**平成29年度から運用を開始した『ダム通砂』をはじめ、引き続き行動計画を推進**していきます。

【凡例】「○」問題なく良いレベル、「△」普通のレベル、「×」問題があり悪いレベル

【耳川通信簿】

		方向性		
		改善傾向【A】	維持傾向【B】	悪化傾向【C】
		3点	2点	1点
状態	良い状態【a】	3.0点	2.5点	2.0点
	普通状態【b】	2.5点	2.0点	1.5点
	悪い状態【c】	2.0点	1.5点	1.0点

凡例

- : 良いレベル【○】
- : 普通レベル【△】
- : 悪いレベル【×】

領域	評価点 ※3点満点	
	方向性	状態
山地領域	2.0	2.2
ダム領域	2.0	1.9
河道領域	1.9	1.9
河口・海岸領域	2.0	2.4

※「耳川通信簿」の詳細については、[県庁ホームページ](#)に掲載しています。

耳川水系総合土砂管理計画

検索

【九州電力による取り組み】ダム通砂運用について

◆山須原ダム・西郷ダムでは、洪水時に上流から流れてくる土砂をダム下流に通過させる(ダム通砂といいます。)ための改造工事を実施しています。

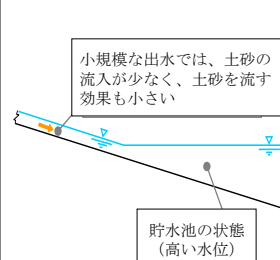
★平成29年度の出水期(台風時)から下流2ダム(西郷、大内原)で「ダム通砂運用」を開始しました！！(山須原を含む3ダムでの通砂運用は令和3年度から予定)

ダム通砂運用とは

ダム通砂運用は、台風による出水時にダム貯水池内の水位を下げることで、貯水池を本来の河川のような状態にし、流れる水の力を利用して貯水池内に流入する土砂をダム下流へ通過させる運用です。

【平成29年度以降の出水時のダム運用イメージ】

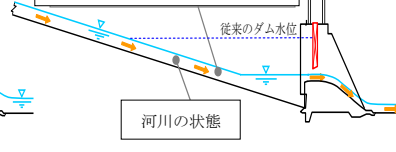
【通常のダム操作】



【ダム通砂運用時のダム操作】

大規模な台風出水(700m³/s以上)の際に実施

水位を下げることで流速が増し、流入する土砂がダムを通過しやすくなる



令和2年度は台風10号において、通砂運用を行いました。その結果、西郷ダムを通過した土砂の一部が堆積し、新たに砂州が形成されています。